

科目名	故障探求V						
科目名(英)	fault diagnosis						
単位数	3単位	時間数	120時間	担当者	三浦匡治、荒巻裕二、田中康司		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	自動車販売店にて整備士として勤務		
対象学科・学年	1級自動車整備科4年						
授業概要	1級自動車整備士が担っていく社会的に重要なテーマとして必要な、多様化する自動車システムの実践的な診断整備技術や自動車使用者の保守管理を支援する総合診断、また環境保全、職場環境の安全管理、自動車整備士に必要な関連法令の知識の習得を目指します。						
授業形式	講義： △	演習：	実習： ○	実技：	※ 主たる方法：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				国家試験(筆記)過去及び本校作成問題を実施し、合格(80点以上)する事が出来る	
テキスト・教材 参考図書	・国土交通省自動車局監修 教科書 一級自動車整備士 エンジン電子制御装置、シャシ電子制御装置、自動車新技術、総合診断・環境保全・安全管理、法令教材 ・公論出版自動車整備士1級小型筆記 問題と解説						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1~6	模擬試験の実施と自己研究、苦手分野の理解度向上				授業時間内に完成しなかった課題の実施及び予習	
	7~12	苦手分野の明確化と分野別問題の実施、グループ研究				授業時間内に完成しなかった課題の実施及び予習	
	13~18	模擬試験の実施と自己研究、苦手分野の理解度向上				授業時間内に完成しなかった課題の実施及び予習	
	19~24	苦手分野の明確化と分野別問題の実施、グループ研究				授業時間内に完成しなかった課題の実施及び予習	
	25~30	模擬試験の実施と自己研究、苦手分野の理解度向上				授業時間内に完成しなかった課題の実施及び予習	
	31~36	苦手分野の明確化と分野別問題の実施、グループ研究				授業時間内に完成しなかった課題の実施及び予習	
	37~42	模擬試験の実施と自己研究、苦手分野の理解度向上				授業時間内に完成しなかった課題の実施及び予習	
	43~48	苦手分野の明確化と分野別問題の実施、グループ研究				授業時間内に完成しなかった課題の実施及び予習	
	49~54	模擬試験の実施と自己研究、苦手分野の理解度向上				授業時間内に完成しなかった課題の実施及び予習	
	55~60	苦手分野の明確化と分野別問題の実施、グループ研究				授業時間内に完成しなかった課題の実施及び予習	
	61~66	模擬試験の実施と自己研究、苦手分野の理解度向上				授業時間内に完成しなかった課題の実施及び予習	
	67~72	苦手分野の明確化と分野別問題の実施、グループ研究				授業時間内に完成しなかった課題の実施及び予習	
	89~108	模擬試験の実施と自己研究、苦手分野の理解度向上				授業時間内に完成しなかった課題の実施及び予習	
	89~108	○×問題を使用した分野別の理解度向上				授業時間内に完成しなかった課題の実施及び予習	
109~120	国家試験筆記過去問題の実施と研究				授業時間内に完成しなかった課題の実施及び予習		
評価方法	授業の中で1週間に1回程度、確認試験を行い、平均点を下記の基準で評価する。 成績評価は、学生便覧に則り行う。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	確認試験	○	○				100%
履修上の注意							

科目名	総合診断						
科目名(英)	General diagnosis						
単位数	2単位	時間数	105時間	担当者	三浦匡治、荒巻裕二、田中康司		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	自動車販売店にて整備士として勤務		
対象学科・学年	1級自動車整備科4年						
授業概要	自動車整備士が担っていく社会的に重要なテーマとして、多様化する自動車ユーザーの保守管理を支援することが求められます。そのため情報提供手段としての総合診断の基本、応用知識の修得を始めとして、修得知識を活用した実践的な手法学びます。具体的には、情報提供として必要となる問診、診断、整備計画等と整備の結果の内容説明における知識及び、これを活用した応酬話法について、職場での活用が可能となるよう理解します。						
授業形式	講義: △	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
			○				
	目標						
	故障診断に必要な情報を、問診と通して得ることができる。						
	問診で得た診断に必要な情報をもとに、整備計画を説明できる。						
		○					
点検整備記録簿をもとに、整備結果の内容説明ができる。							
		○					
自動車の法令及び保守管理等について説明できる。							
テキスト・教材 参考図書	実習ノート「整備内容説明」及び「問診」						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	問診の概要			実習ノートの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	問診の進め方とポイント			実習ノートの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	問診の大項目と小項目の理解			実習ノートの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	追加質問と回答要領の理解			実習ノートの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5~35	問診の練習			実習ノートの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	36	整備説明の概要			実習ノートの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	37	整備説明の進め方			実習ノートの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	38	整備説明のポイント			実習ノートの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	39	追加質問と回答要領の理解			実習ノートの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	40~70	整備説明の練習			実習ノートの該当範囲を事前に読んでおくこと		
	71~105	問診と整備説明の練習(国家試験形式)			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと		
	評価方法	実技テストを実施し、平均点で評価する。 成績評価は、学生便覧に則り行う。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
実技テスト				◎			100%
履修上の注意							

科目名	インターンシップ						
科目名(英)	internship						
単位数	7単位	時間数	315時間	担当者	武田 健吾		
実施年度	2020年度	実施時期	後期	担当者実務経験	自動車販売店にて整備士として勤務		
対象学科・学年	1級自動車整備科4年						
授業概要	一級自動車整備士の養成として学校教育を受けた学生として体験実習という実践の場を経験することで、自己の技術を認識し、就職後の職業生活に対する適応力を身に付ける。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				点検整備について、車両受付から引渡しまでの流れを説明できる。	
	○	○	○			点検整備について、点検整備作業ができる。	
		○	○			故障原因探究について、外部診断器等の機器を使用して原因の調べることができる。	
	○	○	○	○		総合診断について、接客ができ、正しい部品及び帳票の運用ができる。	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1~315	1) 自動車の点検整備 ・法令点検整備作業、点検整備に伴う付帯作業、各種点検整備、一般整備作業					
		2) 故障原因探究 ・故障修理作業、高度診断技術、高度整備後術、自動車新技術					
		3) 総合診断 ・作業廃棄物処理、安全管理と作業効率、アドバイザー業務、応酬話法					
評価方法	実習実施企業にて実習指導者を選任して頂き、「日報」「体験実習記録」の内容、実習態度をもとに、評価する。評価基準は、「点検整備」「故障原因探求」「総合診断」の項目において、A(90点以上)・B(80点以上)・C(70点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	日報、体験実習記録、態度	○	○	○	○		100%
履修上の注意							